



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月6日

上場会社名 日本パーカライジング株式会社
 コード番号 4095 URL <http://www.parker.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 里見 多一
 (氏名) 田村 裕保
 配当支払開始予定日

TEL 03-3278-4333
 平成27年12月10日

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	51,852	8.1	7,297	△1.1	8,532	1.4	5,073	3.7
27年3月期第2四半期	47,946	3.4	7,375	2.2	8,412	0.4	4,891	1.6

(注)包括利益 28年3月期第2四半期 3,574百万円 (△38.0%) 27年3月期第2四半期 5,768百万円 (△48.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	40.92	—
27年3月期第2四半期	39.45	—

(注)当社は、平成27年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	190,325	138,640	61.0	936.98
27年3月期	187,116	136,123	61.1	921.68

(参考)自己資本 28年3月期第2四半期 116,182百万円 27年3月期 114,286百万円

(注)当社は、平成27年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
28年3月期	—	7.50	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	7.50	15.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)平成28年3月期(予想)の中間配当金及び期末配当金については、平成27年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行った影響を考慮した金額を記載しております。

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	110,000	7.3	16,500	11.1	18,500	6.0	10,200	2.3	82.26

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	132,604,524 株	27年3月期	132,604,524 株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	8,607,693 株	27年3月期	8,607,036 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	123,997,023 株	27年3月期2Q	123,991,504 株

(注)当社は、平成27年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「発行済株式数(普通株式)」を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1.	当四半期決算に関する定性的情報	2
	(1) 経営成績に関する説明	2
	(2) 財政状態に関する説明	4
	(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2.	サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
	(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
	(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
	(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3.	四半期連結財務諸表	6
	(1) 四半期連結貸借対照表	6
	(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
	四半期連結損益計算書	8
	四半期連結包括利益計算書	9
	(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
	(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
	（継続企業の前提に関する注記）	12
	（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	12
	（セグメント情報等）	12
4.	補足情報	14
	(1) 四半期毎の業績の推移（連結）	14
	(2) 報告セグメントの所在地別売上高及び利益又は損失の金額に関する情報	15
	(3) 四半期毎の業績の推移（提出会社個別）	16

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間(平成27年4月1日から平成27年9月30日まで)における世界経済は、中国経済の減速感が鮮明になるなか、輸出に依存するアジア経済全般も足踏み状態で推移しております。米国経済は堅調さを維持しておりますが、先行きの不安材料が多く、利上げには踏みきれない状況で推移しております。一方、国内経済は、原油安や円安基調の継続などにより企業収益は改善され、設備投資に回復の兆しが見られるなど緩やかな回復傾向にはありますが、海外依存度が増している日本企業にとって、世界経済の減速懸念が影を落としております。

当社グループを取り巻く事業環境は、主要な供給先であります自動車業界では、地産地消が進むなか国内の自動車生産は減少を続けております。もう一つの柱である鉄鋼業界も、国内需要は引き続き底堅いものの、アジア地域における供給過剰体制は続いており、依然として厳しい状況で推移しております。

このような状況において当社グループでは、ユーザーニーズにマッチした高品質、低コスト技術の提供に努めるとともに、海外需要を着実に捉えるため、米国、メキシコ、中国、タイなどを中心に生産設備を増強しております。また、将来の市場優位性を確保するべく、さらなる新技術の創出を目指し、研究開発活動にも注力してまいりました。

当社グループの第2四半期累計期間の連結業績は、**売上高**は51,852百万円と前第2四半期累計期間(以下、前期)に比べ3,905百万円(8.1%)の増収となりました。国内では、装置事業が大幅に増収となったほか、金属表面処理剤の販売も若干持ち直してまいりました。海外では、為替の影響もあり全ての事業が増収で推移いたしました。事業の種類別セグメント毎の売上高は、前期に比べ薬品事業が1.1%、装置事業が27.2%、加工事業が7.3%、その他が28.2%とそれぞれ増収で推移しております。また、地域別セグメントは、国内が2.9%、アジアが18.2%、欧米が13.9%とそれぞれ増収で推移しております。(セグメントの増減率は外部顧客売上高を基礎としております。)

営業利益は7,297百万円と前期に比べ△78百万円(△1.1%)の減益となりました。売上総利益は、売上高増加による収益増はあるものの、原材料費の高騰による薬品事業の収益低下もあり、19,284百万円と901百万円(4.9%)の増益に留まるとともに、**販売費及び一般管理費**が11,987百万円と979百万円(8.9%)増加いたしました。この内訳は人件費が7.0%、経費が11.8%それぞれ増加し、主な増加要因には為替変動要因も含まれますが、海外の人件費や減価償却費などの増加によるものであります。

経常利益は8,532百万円と前期に比べ119百万円(1.4%)の増益となりました。**営業外の収支**は1,235百万円の収入となり、受取配当金や持分法投資利益の増加などにより前期に比べ197百万円増加いたしました。この結果、当第2四半期累計期間の**総資産経常利益率**(ROA)は4.5%(年換算9.0%)と前期に比べ△0.5%減少いたしました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は5,073百万円と前期に比べ182百万円(3.7%)の増益となりました。この結果、当第2四半期累計期間の**自己資本利益率**(ROE)は4.4%(年換算8.8%)と前期に比べ△0.5%減少いたしました。

【連結決算の概況】

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益
当第2四半期累計期間 (平成28年3月期)	51,852	7,297	8,532	5,073
前第2四半期累計期間 (平成27年3月期)	47,946	7,375	8,412	4,891
増減金額	3,905	△78	119	182
増減率	8.1%	△1.1%	1.4%	3.7%

【為替の影響額】

当期の為替換算レートは、ユーロを除き、概ね円安にシフトしております。損益計算書に与える影響額は、売上高で2,372百万円程度の増収、営業利益で339百万円程度の増益となっております。

【事業の種類別セグメントの概況】

(単位：百万円)

報告セグメント	外部顧客に対する売上高				セグメント利益 (営業利益)			
	前第2四 半期累計	当第2四 半期累計	増減額	増減率	前第2四 半期累計	当第2四 半期累計	増減額	増減率
薬品事業	21,646	21,887	240	1.1%	4,443	4,175	△267	△6.0%
装置事業	7,462	9,492	2,029	27.2%	314	275	△38	△12.4%
加工事業	17,602	18,889	1,286	7.3%	2,975	3,313	337	11.3%
その他	1,234	1,582	348	28.2%	96	126	30	31.5%
調整額 (消去)	—	—	—	—	△453	△592	△139	—
連結損益計算書計上額	47,946	51,852	3,905	8.1%	7,375	7,297	△78	△1.1%

第1四半期会計期間より事業セグメントの利益又は損失の測定方法(事業の種類別セグメントにまたがる全社費用の配賦方法)を変更しております。当第2四半期累計期間、前第2四半期累計期間の数値は、変更後の事業セグメントの利益又は損失に基づいております。

① 薬品事業

外部顧客に対する売上高は21,887百万円と前期に比べ240百万円(1.1%)の増収となり、営業利益は4,175百万円と△267百万円(△6.0%)の減益となりました。当事業部門は、金属などの表面に耐食性、耐摩耗性、潤滑性など機能性向上を目的とする化成皮膜を施し、素材の付加価値を高める薬剤などを中心に製造・販売しております。自動車・鉄鋼業界などで国内の金属表面処理剤の需要が持ち直しを見せるとともに、海外でも円安の影響もあり比較的堅調に推移しておりますが、原材料費の高騰などにより収益率が低下した結果、増収減益で推移いたしました。

② 装置事業

外部顧客に対する売上高は9,492百万円と前期に比べ2,029百万円(27.2%)の増収となり、営業利益は275百万円と△38百万円(△12.4%)の減益となりました。当事業部門は、輸送機器業界を中心に前処理設備及び塗装設備や粉体塗装設備などを製造・販売しております。国内では住設関連業界向けなどに大型の設備物件が検収され、海外でも比較的堅調に推移し増収となりましたが、収益面では伸び悩みました。

③ 加工事業

外部顧客に対する売上高は18,889百万円と前期に比べ1,286百万円(7.3%)の増収となり、営業利益は3,313百万円と337百万円(11.3%)の増益となりました。当事業部門は、熱処理加工、防錆加工、めっき処理などの表面処理の加工サービスを提供しております。熱処理加工事業については、海外では中国の需要が拡大しておりますが、インドネシアでは低調に推移いたしました。国内では自動車部品の海外シフトの影響により、低調に推移しております。また、防錆加工事業については、国内外ともに比較的堅調に推移しております。

④ その他

外部顧客に対する売上高は1,582百万円と前期に比べ348百万円(28.2%)の増収となり、営業利益は126百万円と30百万円(31.5%)の増益となりました。当事業部門は、ビルメンテナンス事業、運送事業、太陽光発電事業などを営んでおります。ビルメンテナンス事業が堅調に推移するとともに、ボルト製品の製造・販売を営む連結子会社1社が加わり増収増益となりました。

【投資情報】

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間	当第2四半期累計期間
減価償却費 (有形固定資産)	1,680	2,152
設備投資額 (有形固定資産)	3,780	4,671
研究開発費	1,052	1,060
有利子負債	1,050	2,426

(2) 財政状態に関する説明

資産合計は、前連結会計年度末と比較し 3,209 百万円増加し 190,325 百万円となりました。主な増減といたしましては、現金及び預金が 2,873 百万円、有価証券が 2,351 百万円増加いたしました。固定資産では有形固定資産が 1,901 百万円増加した一方、投資有価証券の時価の下落等により投資その他の資産が△4,434 百万円減少いたしました。

負債合計は、前連結会計年度末と比較し 692 百万円増加し 51,685 百万円となりました。主な増減といたしましては、流動負債では支払手形及び買掛金が△419 百万円減少した一方で、前受金などにより流動負債その他が 1,767 百万円増加いたしました。固定負債では繰延税金負債が△944 百万円減少いたしました。

非支配株主持分を含めた**純資産合計**は、前連結会計年度末と比較し 2,517 百万円増加し 138,640 百万円となりました。主な増減といたしましては、利益剰余金が 4,127 百万円、非支配株主持分が 620 百万円それぞれ増加した一方、その他有価証券評価差額金と為替換算調整勘定の減少などにより、その他の包括利益累計額が△2,229 百万円減少いたしました。

以上の結果、自己資本比率は 61.0%と前連結会計年度末と比較し△0.1%低下するとともに、1株当たり純資産は 936 円 98 銭と 15 円 30 銭増加いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

(通期の見通し)

今後につきましては、前年同月比で一年以上減産を続けている国内の自動車生産には、底入れの兆しが見られるものの、中国経済の失速への警戒感が高まり、世界経済への影響が懸念されるなど、先行きは非常に不透明な状況となっております。

このような厳しい経済環境において当社グループでは、技術立社であることへの原点回帰をスローガンとして先進性と独創性に秀でた表面改質技術の開発を進めるとともに、海外への設備投資を積極的に進め、企業体質の強化と収益の向上に努めてまいります。

通期の見通しにつきましては、開示時点(平成27年5月14日)の判断状況と比較して、国内及びアセアン地域の市場環境に厳しさが増しておりますが、現段階において数値に変更はありません。

【通期連結業績(平成28年3月期)の見通し】

(単位:百万円)

	平成28年3月期 (予想)	前期比	進捗率 (第2四半期)
売上高	110,000	7.3%	47.1%
営業利益	16,500	11.1%	44.2%
経常利益	18,500	6.0%	46.1%
親会社株主に帰属する当期純利益	10,200	2.3%	49.7%

(通期予想は、現時点の入手可能な情報に基づき判断したものであり、経済情勢の変化、市場の動向、為替レートの変動などにより乖離する可能性があります。)

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
税金費用計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

当第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書においては、連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に係るキャッシュ・フローについては、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載し、連結範囲の変動を伴う子会社株式の取得関連費用もしくは連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に関連して生じた費用に係るキャッシュ・フローは、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載しております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額ははありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	38,835	41,708
受取手形及び売掛金	32,675	33,063
有価証券	2,090	4,441
商品及び製品	2,334	2,434
仕掛品	3,880	4,613
原材料及び貯蔵品	4,551	4,325
その他	5,615	5,304
貸倒引当金	△169	△173
流動資産合計	89,812	95,719
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	16,393	17,287
土地	15,235	15,183
その他（純額）	19,281	20,342
有形固定資産合計	50,911	52,813
無形固定資産	1,616	1,451
投資その他の資産		
投資有価証券	32,376	28,503
その他	12,498	11,933
貸倒引当金	△99	△95
投資その他の資産合計	44,775	40,341
固定資産合計	97,303	94,605
資産合計	187,116	190,325
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,535	15,116
短期借入金	144	308
1年内返済予定の長期借入金	399	329
未払法人税等	1,888	1,848
賞与引当金	2,345	2,307
その他	12,397	14,165
流動負債合計	32,710	34,076
固定負債		
長期借入金	1,854	1,789
退職給付に係る負債	9,711	9,753
その他	6,716	6,066
固定負債合計	18,282	17,609
負債合計	50,992	51,685

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,560	4,560
資本剰余金	3,913	3,912
利益剰余金	93,949	98,076
自己株式	△3,628	△3,629
株主資本合計	98,793	102,919
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,615	8,583
繰延ヘッジ損益	△3	19
為替換算調整勘定	4,910	4,691
退職給付に係る調整累計額	△29	△31
その他の包括利益累計額合計	15,492	13,262
非支配株主持分	21,836	22,457
純資産合計	136,123	138,640
負債純資産合計	187,116	190,325

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	47,946	51,852
売上原価	29,562	32,567
売上総利益	18,383	19,284
販売費及び一般管理費	11,007	11,987
営業利益	7,375	7,297
営業外収益		
受取利息	106	131
受取配当金	251	345
受取賃貸料	169	187
持分法による投資利益	336	412
その他	349	397
営業外収益合計	1,213	1,474
営業外費用		
支払利息	7	11
為替差損	38	80
その他	129	147
営業外費用合計	175	238
経常利益	8,412	8,532
特別利益		
固定資産売却益	10	53
投資有価証券売却益	-	9
特別利益合計	10	63
特別損失		
固定資産除却損	34	34
持分変動損失	90	-
環境対策引当金繰入額	-	65
その他	5	2
特別損失合計	130	102
税金等調整前四半期純利益	8,293	8,493
法人税等	2,605	2,474
四半期純利益	5,687	6,019
非支配株主に帰属する四半期純利益	796	946
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,891	5,073

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	5,687	6,019
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,341	△2,069
繰延ヘッジ損益	—	21
為替換算調整勘定	△1,050	△472
退職給付に係る調整額	7	△1
持分法適用会社に対する持分相当額	△217	78
その他の包括利益合計	80	△2,444
四半期包括利益	5,768	3,574
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,196	2,843
非支配株主に係る四半期包括利益	572	730

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	8,293	8,493
減価償却費	1,711	2,191
貸倒引当金の増減額(△は減少)	25	3
賞与引当金の増減額(△は減少)	△27	△37
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	943	48
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	17	△28
受取利息及び受取配当金	△353	△477
支払利息	7	11
為替差損益(△は益)	50	54
持分法による投資損益(△は益)	△336	△412
固定資産売却損益(△は益)	△9	△52
有形固定資産除却損	16	6
売上債権の増減額(△は増加)	△1,344	△413
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,339	△628
前渡金の増減額(△は増加)	△283	212
仕入債務の増減額(△は減少)	1,289	△403
未払金の増減額(△は減少)	△188	310
前受金の増減額(△は減少)	1,869	2,191
未払消費税等の増減額(△は減少)	300	△29
その他	△1,323	171
小計	9,318	11,210
利息及び配当金の受取額	641	704
利息の支払額	△18	△40
法人税等の支払額	△3,261	△2,693
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,680	9,180
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,026	△3,732
定期預金の払戻による収入	3,240	3,522
有価証券の取得による支出	-	△350
有価証券の償還による収入	1,300	-
投資有価証券の取得による支出	△423	△905
投資有価証券の売却による収入	-	18
有形固定資産の取得による支出	△3,780	△4,671
有形固定資産の売却による収入	13	194
貸付けによる支出	△139	△0
貸付金の回収による収入	253	30
その他	△89	△325
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,652	△6,218

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	32	14
短期借入金の返済による支出	△74	—
長期借入れによる収入	439	200
長期借入金の返済による支出	△159	△185
自己株式の取得による支出	△1	△0
配当金の支払額	△946	△946
非支配株主への配当金の支払額	△102	△110
その他	△96	△114
財務活動によるキャッシュ・フロー	△908	△1,143
現金及び現金同等物に係る換算差額	△191	△151
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	3,927	1,667
現金及び現金同等物の期首残高	28,552	32,160
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△222	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	32,258	33,827

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	薬品事業	装置事業	加工事業	計				
売上高								
(1)外部顧客に対する 売上高	21,646	7,462	17,602	46,712	1,234	47,946	—	47,946
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	601	119	24	745	504	1,249	△1,249	—
計	22,248	7,582	17,626	47,457	1,738	49,195	△1,249	47,946
セグメント利益	4,443	314	2,975	7,732	96	7,829	△453	7,375

- (注) 1. 「その他」は、報告セグメントに含まれない区分であり、ビルメンテナンス事業、運送事業、太陽光発電事業などを含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△453百万円には、セグメント間取引消去175百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△629百万円が含まれております。なお、全社費用は、各報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術研究費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	薬品事業	装置事業	加工事業	計				
売上高								
(1)外部顧客に対する 売上高	21,887	9,492	18,889	50,269	1,582	51,852	—	51,852
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	511	99	11	622	552	1,174	△1,174	—
計	22,398	9,592	18,900	50,891	2,135	53,026	△1,174	51,852
セグメント利益	4,175	275	3,313	7,763	126	7,890	△592	7,297

- (注) 1. 「その他」は、報告セグメントに含まれない区分であり、ビルメンテナンス事業、運送事業、太陽光発電事業などを含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△592百万円には、セグメント間取引消去180百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△773百万円が含まれております。なお、全社費用は、各報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術研究費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(事業セグメントの利益又は損失の測定方法の変更)

第1四半期連結会計期間より、報告セグメント別の経営成績をより適切に反映させるため、管理部門及び研究部門に係る費用の配賦方法を各セグメントの事業実態に合った合理的な配賦基準に基づき配賦する方法に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間の「報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」は、変更後の利益又は損失の測定方法により作成しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 四半期毎の業績の推移(連結)

平成28年3月期(連結)

(単位:百万円)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通算
	27年4月～27年6月	27年7月～27年9月	27年10月～27年12月	28年1月～28年3月	27年4月～28年3月
売上高	24,045	27,806			51,852
売上総利益	9,163	10,121			19,284
営業利益	3,252	4,044			7,297
経常利益	3,795	4,736			8,532
税金等調整前当期純利益	3,719	4,774			8,493
親会社株主に帰属する当期純利益	2,192	2,880			5,073
総資産	189,568	190,325			—
純資産	138,128	138,640			—

平成27年3月期(連結)

(単位:百万円)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通算
	26年4月～26年6月	26年7月～26年9月	26年10月～26年12月	27年1月～27年3月	26年4月～27年3月
売上高	23,193	24,752	23,502	31,065	102,514
売上総利益	9,143	9,239	9,191	10,160	37,735
営業利益	3,722	3,652	3,455	4,019	14,850
経常利益	4,222	4,190	4,366	4,673	17,453
税金等調整前当期純利益	4,106	4,186	4,441	4,754	17,488
親会社株主に帰属する当期純利益	2,398	2,492	2,745	2,338	9,975
総資産	163,294	171,390	181,367	187,116	—
純資産	118,680	121,565	128,368	136,123	—

平成26年3月期(連結)

(単位:百万円)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通算
	25年4月～25年6月	25年7月～25年9月	25年10月～25年12月	26年1月～26年3月	25年4月～26年3月
売上高	21,069	25,291	24,997	28,436	99,793
売上総利益	8,301	9,351	9,593	9,481	36,728
営業利益	3,177	4,037	4,250	3,927	15,393
経常利益	3,740	4,642	4,975	4,687	18,046
税金等調整前当期純利益	3,742	5,162	4,938	4,572	18,415
親会社株主に帰属する当期純利益	1,992	2,820	3,046	2,283	10,142
総資産	152,175	160,974	164,610	165,914	—
純資産	105,959	110,887	113,973	117,672	—

(2) 報告セグメントの所在地別売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

報告セグメント		売上高				セグメント利益又は損失(△)			
		前第2四 半期連結 累計期間	当第2四 半期連結 累計期間	増減額	増減率	前第2四 半期連結 累計期間	当第2四 半期連結 累計期間	増減額	増減率
薬品 事業	日本	13,673	12,967	△ 706	△5.2%	2,674	2,272	△ 401	△15.0%
	アジア	7,465	8,451	986	13.2%	1,426	1,636	209	14.7%
	欧米	508	469	△ 39	△7.7%	174	122	△ 52	△29.9%
	セグメント間 の内部売上高 又は振替高	601	511	△ 90	△15.1%	166	143	△ 22	△13.8%
	計	22,248	22,398	150	0.7%	4,443	4,175	△ 267	△6.0%
装置 事業	日本	5,010	6,268	1,258	25.1%	174	178	3	2.1%
	アジア	2,452	3,222	769	31.4%	24	30	5	24.7%
	欧米	—	1	1	—	—	△ 3	△ 3	—
	セグメント間 の内部売上高 又は振替高	119	99	△ 19	△16.4%	114	69	△ 45	△39.2%
	計	7,582	9,592	2,010	26.5%	314	275	△ 38	△12.4%
加工 事業	日本	10,910	10,919	8	0.1%	2,015	2,051	35	1.7%
	アジア	4,226	5,053	826	19.6%	554	779	225	40.6%
	欧米	2,465	2,917	451	18.3%	344	403	59	17.2%
	セグメント間 の内部売上高 又は振替高	24	11	△ 12	△53.5%	61	79	18	29.4%
	計	17,626	18,900	1,273	7.2%	2,975	3,313	337	11.3%
報告セグメント計		47,457	50,891	3,434	7.2%	7,732	7,763	30	0.4%
その 他	日本	1,177	1,518	340	28.9%	56	90	33	59.8%
	アジア	56	64	7	13.4%	38	36	△ 2	△5.5%
	欧米	—	—	—	—	—	—	—	—
	セグメント間 の内部売上高 又は振替高	504	552	48	9.6%	1	0	△ 1	△100.0%
	計	1,738	2,135	396	22.8%	96	126	30	31.5%
合計		49,195	53,026	3,831	7.8%	7,829	7,890	60	0.8%
調整額		△ 1,249	△ 1,174	74	6.0%	△ 453	△ 592	△ 139	△30.7%
連結損益計算書計上額		47,946	51,852	3,905	8.1%	7,375	7,297	△ 78	△1.1%

所在地別セグメント情報

(単位：百万円)

所在地	売上高				営業利益			
	前第2四 半期連結 累計期間	当第2四 半期連結 累計期間	増減額	増減率	前第2四 半期連結 累計期間	当第2四 半期連結 累計期間	増減額	増減率
日本	32,744	33,563	819	2.5%	5,047	4,727	△ 320	△6.3%
アジア	14,228	16,856	2,628	18.5%	1,941	2,356	414	21.3%
欧米	2,975	3,388	412	13.9%	518	522	3	0.6%
合計	49,948	53,807	3,859	7.7%	7,508	7,605	97	1.3%
調整額	△ 2,001	△ 1,955	46	2.3%	△ 132	△ 308	△ 175	△132.5%
連結損益計算書計上額	47,946	51,852	3,905	8.1%	7,375	7,297	△ 78	△1.1%

(3) 四半期毎の業績の推移 (提出会社個別)

平成28年3月期 (提出会社個別)

(単位:百万円)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通算
	27年4月～27年6月	27年7月～27年9月	27年10月～27年12月	28年1月～28年3月	27年4月～28年3月
売上高	9,891	11,202			21,094
売上総利益	3,746	3,946			7,692
営業利益	1,068	1,246			2,315
経常利益	2,133	1,800			3,933
税金等調整前当期純利益	2,054	1,792			3,846
当期純利益	1,489	1,299			2,789
総資産	96,291	94,720			—
純資産	69,808	68,667			—

平成27年3月期 (提出会社個別)

(単位:百万円)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通算
	26年4月～26年6月	26年7月～26年9月	26年10月～26年12月	27年1月～27年3月	26年4月～27年3月
売上高	9,918	10,688	10,528	10,227	41,362
売上総利益	3,911	3,856	3,952	3,819	15,540
営業利益	1,323	1,200	1,296	1,124	4,945
経常利益	2,207	1,820	1,625	2,396	8,050
税金等調整前当期純利益	2,201	1,815	1,619	2,434	8,071
当期純利益	1,541	1,270	1,133	1,509	5,455
総資産	86,557	91,158	93,294	95,955	—
純資産	62,211	63,972	65,662	68,632	—

平成26年3月期 (提出会社個別)

(単位:百万円)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通算
	25年4月～25年6月	25年7月～25年9月	25年10月～25年12月	26年1月～26年3月	25年4月～26年3月
売上高	9,486	10,573	10,237	10,179	40,476
売上総利益	3,792	3,849	4,197	3,889	15,728
営業利益	1,263	1,290	1,590	1,193	5,338
経常利益	1,984	1,848	1,892	2,296	8,021
税金等調整前当期純利益	1,981	1,840	1,837	2,183	7,842
当期純利益	1,298	1,205	1,203	1,656	5,363
総資産	81,947	85,402	86,049	85,242	—
純資産	57,395	59,267	60,612	61,530	—